

令和3年度有機フッ素化合物環境中残留実態調査結果（夏季）について

概要

- 平成29年度から主に米軍基地周辺でPFOS, PFOA等の有機フッ素化合物の調査を毎年、夏季、冬季の2回行っている。
- 令和3年度夏季は、49地点で調査を実施（資料1）。
[採水日：8/25～10/6]
- 各米軍基地周辺の調査地点数と、環境省が定めた暫定指針値（50ng/L）を超過した地点数は以下のとおり。
- 全調査地点中の最大濃度は嘉手納町の民家地下水の2300ng/Lであった。

地域	指針値超過地点／調査地点	合計
普天間飛行場周辺	11／20	38／49
キャンプ瑞慶覧周辺	1／1	
嘉手納飛行場周辺	14／14	
キャンプマクトリアス周辺	9／10	
キャンプハンセン周辺	3／4	

各地点の詳細結果は資料2のとおり。

今後の予定等

- 令和3年度の冬季調査を実施する
- 嘉手納飛行場、普天間飛行場周辺の暫定指針値超過については、基地からの影響である蓋然性が高いと考えており、国に調査及び対策を求めている。
- 超過地点については、環境省が作成した手引きに基づき、飲用に供しないよう、関係市町村及び地元自治会を通じて周知していく。